

【先週の説教要旨】 「神は果たして地上に
お住まいになるでしょうか」

列王記下 6:18-21
マタイ 7:7-12

「神は果たして人間と共に地上に住まわれるでしょうか」(歴代誌下 6:18,列王記上 8:27)。イスラエルにはじめて神殿が完成した時、施主であるソロモンが完成した神殿を神に捧げた奉獻式での祈りです。お分かりのように、わたしたちの神はお捧げる神殿なんかにはお住まいになりませんという、神をほめたたえる祈りです。続く言葉が見事にそれを言いあらわしています。「天も、天の天も、あなたをお入れすることはできません。まして私が建てたこの神殿などなおさらです。」

イスラエルにとって「出エジプト」と「ダビデによる王国」、そして「バビロン捕囚」は民族の三大出来事です。出エジプトは神の選びと約束です。ダビデの王国は神の約束の実現と栄光です。バビロン捕囚はイスラエルの背神と神の審きです。王国を統一したダビデは国家統一の要として、古いエブス人の町エルサレムを占領して、これを新しい王国の首都としました。こうしてエルサレムを政治の中心としました。

さらに、ダビデはイスラエルの人々の心をエルサレムに集中させるために、新しい都に神殿を建てることを企てました。しかしその願いは神に退けられました。代わりに、「あなたが生涯を終え、先祖と共に眠るとき、あなたの末裔、あなたの身から出る者が、『私の名のために家を建て、私は彼の王国の王座をとこしえに堅く据える』との約束を受けました(サムエル記下 7:12 以下)。それゆえ、神殿の建設はダビデ家二代にわたる悲願でした。

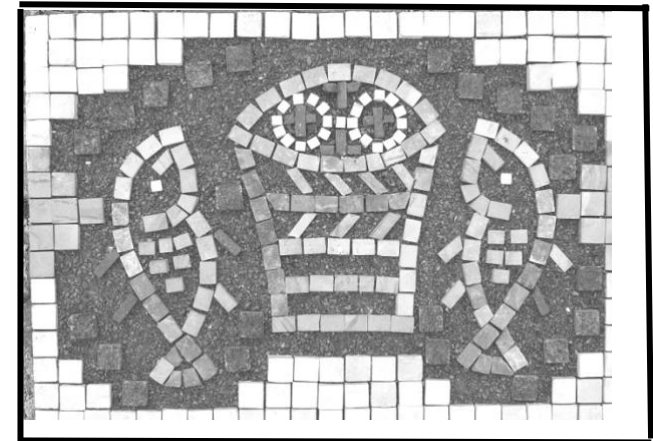
ソロモンは父ダビデのような軍事的指導者ではなかったが、行政手腕に恵まれました。国内の税金および国際的な交易で得られる財力を用いて、豊かで強大な国家を作り上げました。その最大の事業がエルサレム神殿の造営でした。神殿は豪勢で壮大、優美でした。神殿の装飾、祭具は宝石、金、銀、青銅、鉄、石、木材、織物は贅を極めました。さらに神殿の完成のよって、それまでイスラエル各地で行われていたすべての宗教行事をエルサレム神殿に集約しました。それだけ神殿行事は盛大に、華やかに行われました。

こうしてエルサレムがダビデ王朝の政治の中心であるとともに、エルサレム神殿で執り行われる宗教行事(律法と罪のゆるしを求める犠牲(いけにえ)がイスラエルの人々の精神生活の中心となりました。神殿は「天も、天の天も、いわんや地を超えた神」への祈りの家となりました。しかし、大げさで盛大な宗教行事が罪のゆるしになるのでしょうか。ここに旧約聖書の限界がありました。この祈りの実現は、神が送られる生きた神殿である、イエスの来られるのを待たなければなりませんでした。

日本キリスト教団浦河教会

週報

No.15 2021年7月11日



教会創立 1956年

〒057-0022

北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

電話 (FAX) 0146-22-2904

牧師 五味 一

電話 (FAX) 0146-26-3043

2021年7月11日 (No15)

主日礼拝

司会: 広瀬秀幸 奏楽: 松村宣恵

前奏 奏楽者
 讃美歌 85 (二回) 一同
 祈り 司会者
 聖書 エレミヤ書7章1~7節
 (旧約聖書1188頁)
 マタイ福音書7章21~25節
 (新約聖書12頁) 司会者
 讃美歌 206 一同
 説教 「主の神殿と主の言葉」
 五味 一同
 讃美歌 451 一同
 献金と感謝の祈り 一同
 主の祈り 62 一同
 頌栄 キリストの平和が (1-5) 一同
 祝禱 一同
 報告 一同

新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

【本日の集会】

◇主日礼拝 午後2時 場所 カフェぶらぶら
 ◇お茶の会 コロナウイルス感染防止のため休会

【今週の集会】

◇一緒に聖書を読み祈る会 カフェ・ぶらぶら
 ・7月14日(水) 午後7時
 ゼカリヤ書12章9~14節
 (旧約聖書1492頁)
 讃美歌 402、532

【次週の予定】

◇主日礼拝
 ・7月18日(日) 午後2時 カフェ・ぶらぶら
 ・聖書 創世記21章9~21節
 (旧約聖書29頁)
 マタイ福音書8章5~13日節
 (新約聖書13頁)
 ・分かち合い礼拝 聖書の言葉と一週間 みんなで
 ・讃美歌 205、513

【来週の礼拝司会者を決めましょう】

- ① 和田智子 ② 広瀬秀幸 ③ 佐々木実 ④ 吉田公子
- ⑤ 伊藤知之 ⑥ 山根耕平 ⑦ 岸澤恵美 ⑧ 高崎晋
- ⑨ 山本潔 ⑩ 早坂潔 ⑪ 荻野仁

【集会統計】

| 集会名 | 参加者 | 献金 |
|----------------|--------------|---------|
| 主日礼拝 (7月4日) | 19名 (子一名) | 10,748円 |
| 祈禱会 (7月7日) | 9名 | |

《教会員等の動き》

・宮島美智子 6月25日(金)山の家で転倒、救急車で門別国保病院へ搬送されレントゲン検査の結果、左肩を複雑骨折と判明しました。自宅で治療を受けておられます。覚えてお祈りください。

♪ 本日の讃美歌 ♪

♪ 讃美歌 206 「七日の旅路」。作詞はイギリス人の水夫だったジョン・ニュートン(1725-1807)。11歳で父と共に船に乗りはじめ、奴隷売買人のもとで半死半生の目に遭うようなこともありました。ある時、大嵐にあい船が難破しそうになりました。そのとき回心を体験し、後に国教会の牧師となりました。作曲はアメリカ人マーカス・ウェルズ(1818-95)。単純素朴な信仰を歌ったメロディーが広く受け入れられました。

♪ 讃美歌 451 「くすしきみ恵み」。作詞は前出の206番と同じイギリス人ジョン・ニュートン(1725-1807)。曲はアメリカへ移住した農民たちが、民謡的なメロディーに合わせて歌ったものと伝えられています。

◇べてる関係報告7月17日(土) べてる開所

AM どんぐりの会ミーティング

PM べてる web セミナー「いま改めて振り返る、当事者研究の理念 vol.7 — “非” 常識は、キラキラした未来をつくる、のだ— 石原 真衣氏 × 浦河 べてるの家」

頌栄 キリストの平和が

1. キリストのへいわが わたしたちのころのすみずみにまで ゆきわたりますように
5. キリストのゆるしが わたしたちのころのすみずみにまで ゆきわたりますように